

避難所運営・自主防災訓練

10月6日(日)、大江山地区自主防災会主催の自主防災訓練が丸山小学校において実施されました。大江山地区の全自治会と横越地区 4 自治会から婦人、子どもを含む多くの方から参加いただき、各種訓練に一生懸命取り組んでいました。

本年は新潟地震から60年、中越地震から20年に当たり、また1月1日に本市でも大きな被害が発生した能登半島地震が発生しました。当日、多くの住民の方々が避難所と指定されている丸山、大淵小学校、大江山中学校へ避難されていました。



〔避難所受付〕 体温測定



〔段ボールベッド作成〕 力を合わせて



〔簡易担架作成〕 ちょっとドキドキ



〔心肺蘇生法〕 次はAED 着装

「災害は忘れたころにやってくる。」ということわざがあります。
自主防災会は今後も訓練を継続し、地域の防災力強化に努めてまいります。



認知症高齢者等への 声かけ見守り訓練

認知症は高齢になるにしたがって増加し、超高齢社会の日本では65歳以上高齢者の約13%を超えると推計されます。

みどり病院の井上推進員が講師を務め、前半の講座では認知症の症状や早期診断の必要性と治療、本人と家族の心情や不安、行動の実例と道に迷っている人への声かけ対応方法について学びました。

大江山コミ協、区役所と支えあいのしくみづくりが主催し、10月19日に開催され、地域の皆様と大江山中学校の生徒など多くの参加がありました。



訓練の後半は、道に迷って帰れないなど認知症の人が行方不明になったという想定

のもと、徘徊してしまう人の動作・行動の特徴を見極め、本人を驚かせない、反発されない声かけの工夫を、訓練を通じて学びました。



参加者は「余裕を持って一人で声をかける」「目線を合わせて正面から優しく声をかける」、中学生からは「二次元コードの活用が大切」などの意見がありました。

また、認知症のリスクを少なくするにはバランスの良い食事、適度な運動と人との交流などが大切だそうです。

どしん伝言板 「江南区見守りシール」をご存じですか？

認知症で行方不明になった際、衣類に貼った二次元コードが読み取られるとご家族へ発見通知が届く制度です。



健 康 講 座

健康寿命を延ばすための講座が 10 月25日に改善センターで開催されました。フレイルは加齢とともに心身の機能が低下して「健康」と「要介護」の中間の状態にあることをいいます。

区役所保健師さんから体組成測定とフレイル予防の講演がありました。フレイルを予防・改善するためには「栄養」「運動」「社会参加」の3つを意識すること、日頃の生活を見直すことでフレイルは改善できるそうです。



赤い上着、粋な帽子と大きな蝶ネクタイでおなじみ、新潟弁で語る防犯漫談師「中野小路たかまろ」氏を迎え、高齢者の方々が交通事故や振り込め詐欺に遭わず、安心・安全な生活に役立つ漫談で大いに笑い大変な盛り上がりとなりました。

多 世 代 交 流

12月9日改善センターにおいて落語で大笑い！ひと足早いもちつき大会「多世代交流」が大江山地区コミュニティ協議会主催、支え合いのしくみづくり、民生・児童委員の皆様のご協力のもと開催されました。

はじめに「水都家のっぺ」さんの落語で楽しみました。その後は会場の餅つきに、たくさんのお子さんが参加し、餅つきは初めてというお子さんもいて大変喜んでもらえました。



出来上がったお餅は豚汁と共にふるまい、大勢の方々が舌鼓を打ちたくさん召し上がっていました。

大江山地区文化の祭典

今年からステージ発表も再開し、大江山地区文化の祭典が11月2～3日に盛大に執り行われました。ステージ発表では直り山、江口の神楽保存会の皆様からの舞の披露があり、無病息災を願い頭を噛んでもらうために大きな列ができていました。

昨年に引き続き保育園児や小中学生の作品を展示しました。また、地域の方々の写真や絵画、書道や生け花なども展示されました。

3日のステージ発表後には豚汁の振舞いもあり、多くの方が召し上がっていました。



丸小1年生のかわいらしいダンス



無病息災を願い頭を噛んでもらいます



明訓高校、青陵大学の華麗なダンス



見事な作品に見入ってます



華道クラブの作品



大江山中学校吹奏楽部の皆さん